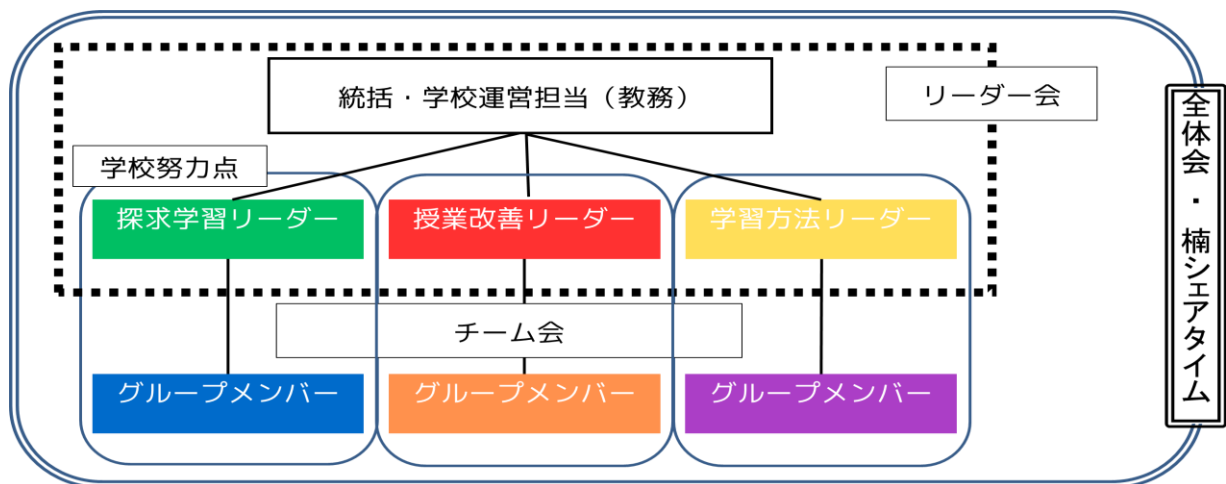


クスマイルプロジェクト推進計画

1 クスマイルプロジェクトについて

自ら学び続ける楠の子を育てていくために、児童の「やってみよう」という気持ちを大切に学習活動を行っていきけるように「探求型学習」を中心に行っていく。また、「授業内容」「学習方法」等においても、「ナゴヤ学びのコンパス」の考えを基に児童を育てていく上で必要な事を考え、それぞれ工夫していきけるようにする。また「授業内容」「学習方法」等を工夫していくためには、教職員が主体的に学ぶことができるよう、時間の確保も必要となってくる。学校運営の観点からも「学ぶ事ができる時間の確保」も含め「子どもも大人（教職員）も学べる学校」となるようプロジェクトを進めていく。

2 クスマイルプロジェクトの研究推進の組織



- ・ 全体会では、「探求型学習」「授業改善」「学習方法検討」等の各チームが何を行っていくかについて共通理解をする。また、年度の終わりには各チームの報告会を行い、次年度への提案を行う。
- ・ 楠シェアタイムでは、各チームでの考えの共有や実践方法の検討、チーム間の情報交換を行う。
- ・ チーム会は、チームごとに随時行い、情報交換や今後の進め方・研修方法などを検討する。
- ・ リーダー会は、各チームの進捗状況等を確認し、今後の方向性を計画する。

3 総合的な学習の時間における「探求型学習」について

（1）自ら学び続ける子を育成するために

主題 楠のびのび大作戦

～夢中になってやってみよう！ 考えて！調べて！学び合おう～

（2）主題について

本校の児童は、学習内容が十分に理解できておらず、一斉授業だけでは十分な学力を身に付けることが難しい児童が多い。また、自ら主体的に学ぶことは少なく、個別に声を掛けてもらうのを待ち、与えられた課題を解く姿がよく見られる。

そこで、子どもたち自身が、学びをただ与えられるのを待つだけでなく、自分たちで作り合い、未来を切り拓いていくような教育を行う必要がある。

「ナゴヤ学びのコンパス」においても、教職員が「全ての子どもは有能な学び手」であるという子ども観に転換し、子どもたち自らが考え、主体的に学びに向かうような、自律した学び手を育てることができる学びを実現することの重要性が記述されている。

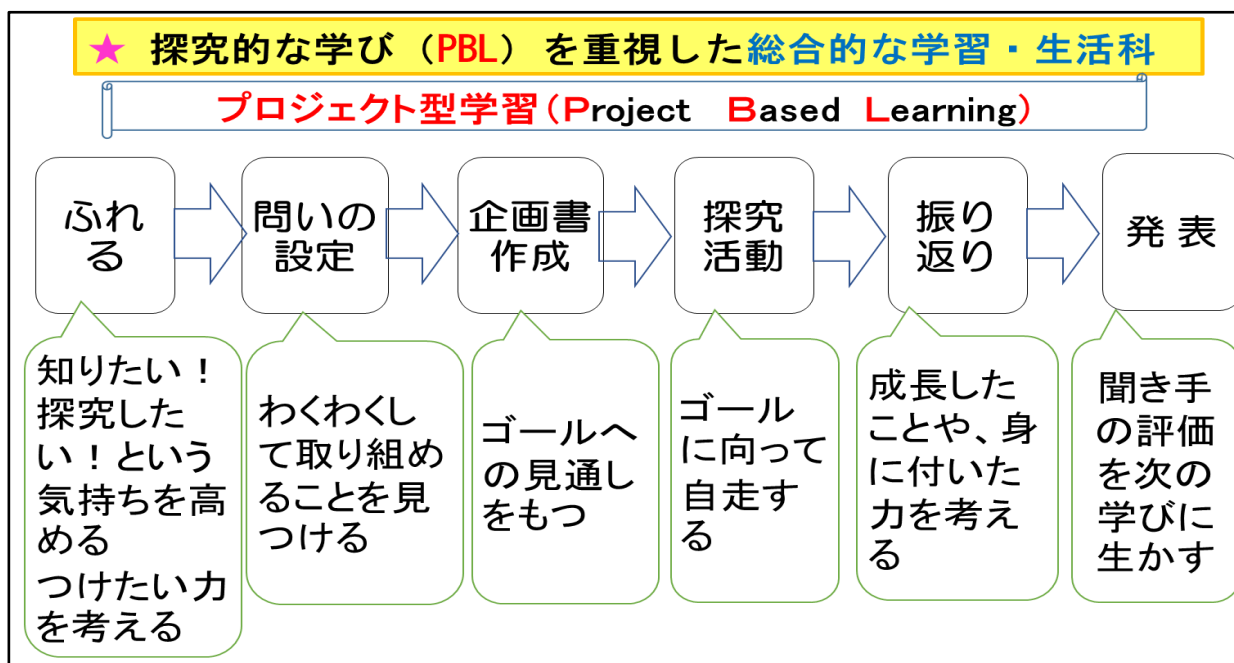
今年度は、学びのコンパスの考えを取り入れた探究学習を取り入れ、自ら考え、主体的

に学びに向かうことができる児童の育成を目指す。教科は、学力差が活動に大きく影響を与えない、総合的な学習の時間（3～6年）と生活科（1・2年）で行うこととする。

総合的な学習の時間は探究のプロセスを基に、学習活動を発展的に繰り返していく探究的な活動に取り組むことができる教科である。また、生活科は、活動や体験を通じて、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立して生活を豊かにしていく教科である。これらの教科の特性を生かし、児童が自ら考え、主体的に学びに向かうことができるような児童の育成を目指す。

（3） 学びの進め方について

以下の図のような流れで探求的な学びを進め、児童が自ら考え、主体的に取り組むことができるようにしていく。



4 クスマイルプロジェクト年間計画

月日（曜日）	内容
4月 21日（月）	本年度の方針について提案とチームごとの検討 （全体会・シェアタイム） 前期の振り返り（シェアタイム） 各チームの報告会（全体会）
7月 15日（火）	
2月 9日（月）	
リーダー会・チーム会は適宜行っていく	

5 保護者・地域の人々への情報開示

- ・ 学習参観や学級懇談会、学校だよりなどを通じて、クスマイルプロジェクトの内容や経過について知らせる。
- ・ 学校ホームページには、クスマイルプロジェクトについてのページを設け、研究計画を公開する。
- ・ 学校評価において、教職員及び児童・保護者の回答を集計し、その結果を学校便りにおいて報告する。